

【資料3】

報告事項

第2期安城市国民健康保険 データヘルス計画 の現状について

令和5年8月10日(木) 安城市国民健康保険運営協議会

1

1. 第2期データヘルス計画（2018～2023）の現状について

【計画期間】2018年度（平成30年度）～2023年度（令和5年度）

**第2期
安城市国民健康保険
データヘルス計画（保健事業実施計画）**
 計画期間：2018年度（平成30年度）～2023年度

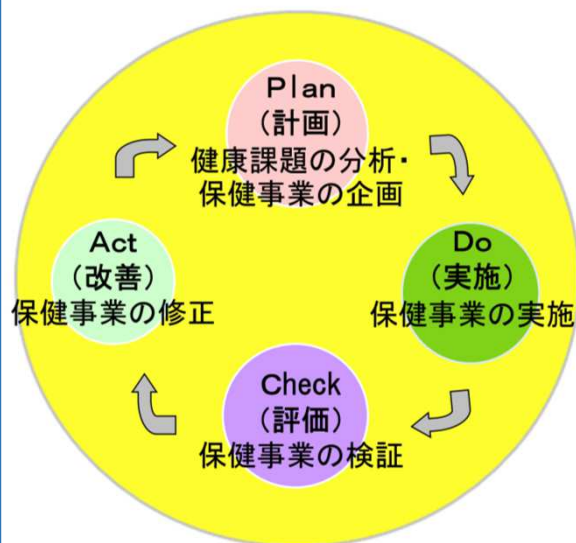
「健幸」と「安心」を支えあう みんなの「保健」



2018年（平成30年）3月
 安城市国民健康保険

◆データヘルス計画

平成25年6月14日に閣議決定された「日本再興戦略」において、国が「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータの分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めたもの。「市町村国保が同様の取組を行うことを推進」することが示された。



特定健診等の健診データ・診療報酬明細書（レセプト）より、**保健事業**を設定

▼

P D C A サイクルに沿って運用

▼

効果的かつ効率的な保健事業の実施

▼

被保険者の健康の保持・増進、医療費の増加を抑制

1. 第2期データヘルス計画（2018～2023）の現状について

各事業方針と対応事業

基本方針	事業方針		対応事業
1 健康を保つための 疾病予防	A	健康状態を把握するための 機会の提供	1. 特定健康診査 2. 特定健康診査受診勧奨 3. 早期介入健診事業 4. がん検診
	B	健康づくりに取り組める しかけづくり	1. 特定保健指導 2. 特定保健指導未利用者対策 3. 健康意識向上の取組
2 安心できる 医療サービスの 提供	C	重症化予防に必要な 医療受診等の案内	1. 「糖尿病」及び「糖尿病性腎 症」の医療受診勧奨 2. 「高血圧」及び「脂質異常 症」リスク保有者への情報提供
	D	医療費等の負担が少ない 受診方法等の啓発	1. ジェネリック医薬品等の啓発 2. 各種啓発事業 3. 医療費通知

3

1. 第2期データヘルス計画（2018～2023）の現状について

各事業の評価について

【基本方針1】 健康を保つための疾病予防

【事業目的A】 健康状態を把握するための機会の提供

	事業名	実施年度	事業目的	実施内容	評価指標	計画策定時実績 2016年度 (H28)	目標値 2023年度 (R5)	達成状況 2022年度 (R4)
基本方針1 健康を保つための疾病予防	特定健康診査	毎年	A 健康状態を把握するための機会の提供	・メタボリックシンドロームに着目した健診 ・委託医療機関個別受診方式	受診率	45.90%	60%以上	46.4% (R5.7速報値)
					健康状態未把握層の減少	41.20%	35%以下	40.8% (R5.7速報値)
	特定健康診査 受診勧奨	毎年		・勧奨通知を個別送付 ・窓口等で特定健康診査に関するPRを実施	対象者への事業周知率	対象者全員	対象者全員	対象者全員
					受診勧奨した人の受診率	25.70%	26%以上	36.7%
	早期介入健診事業	毎年		(ヤング健診) ・特定健康診査に準じた健診 ・委託医療機関個別受診方式	受診率	8.60%	11%以上	8.4%
					特定健康診査40～44歳受診率	24.40%	27.5%以上	20.6% (R5.7速報値)
		毎年		(ICTを活用した検査) ・ヤング健診未受診者を対象にしたインターネットを活用した郵送型の血液検査 ・検査結果の通知、健康に関するアドバイス提供をメールで実施	利用率	6.50%	7.5%以上	3.20%
					※成果はヤング健診と共通			20.6% (R5.7速報値)
	がん検診 (胃がん・肺がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がん)	毎年		・単独受診の他、特定健康診査と同時受診もできる。 ・委託医療機関個別受診方式	各がん検診の受診率	-	50%以上	24.0%以上
					各がん健診の精密検査受診率	-	90%以上	58.2%以上 (R5.6速報値)

1. 第2期データヘルス計画（2018～2023）の現状について

各事業の評価について

【基本方針1】健康を保つための疾病予防

【事業目的B】健康づくりに取り組めるしかけづくり

	事業名	実施年度	事業目的	実施内容	評価指標	計画策定時実績 2016年度 (H28)	目標値 2023年度 (R5)	達成状況 2022年度 (R4)
基本方針1 健康を保つための疾病予防	特定保健指導	毎年	B 健康づくりに取り組めるしかけづくり	・特定健康診査の結果により対象者を判定して行う保健指導	実施率	16.30%	60%以上	10.5% (R5.7速報値)
					特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率	25.60%	30%以上	25.9% (R3法定報告値)
	特定保健指導未利用者対策	毎年		特定保健指導の予約及び利用がない者に、利用勧奨を実施	未利用者勧奨実施率	95%	95%以上	100%
					利用勧奨した人の特定保健指導利用率	11%	11%以上	4.6% (R5.5速報値)
	健康意識向上の取組 (特典(インセンティブ)事業・各種講座)	毎年		(あんじょう健康マイレージ事業) ・健康づくりの特典(インセンティブ)事業として、健診受診等でポイントが貯まるマイレージ事業	達成者数(カードの交付数)	699人	前年度比増	1,121人
					生活改善意欲	66.50%	70%以上	68.4% (R3法定報告値)
		毎年		(各種講座) ・健康に関する知識の普及を行う事業として、市民健康講座、まちかど講座等の各種講座を実施	-			あんじょう健康大学、まちかど講座等を実施
	※成果はあんじょう健康マイレージ事業と共通							68.4% (R3法定報告値)

1. 第2期データヘルス計画（2018～2023）の現状について

各事業の評価について

【基本方針2】 安心できる医療サービスの提供

【事業目的C】 重症化予防に必要な医療受診等の案内

	事業名	実施年度	事業目的	実施内容	評価指標	計画策定時実績 2016年度 (H28)	目標値 2023年度 (R5)	達成状況 2022年度(R4)	
基本方針2 安心できる医療サービスの提供	「糖尿病」及び「糖尿病性腎症」の医療受診勧奨	毎年	C 重症化予防に必要な医療受診等の案内	【糖尿病医療機関受診勧奨】 ・糖尿病等の医療受診の必要があると推測されるリスク保有者に、医療機関への受診勧奨を訪問、電話等で実施	特定保健指導の対象者： 受診勧奨実施率	98%	95%以上	100%	
					特定保健指導の対象者： 受診勧奨実施者が医療受診した割合	12.30%	15%以上	38.46%	
		特定保健指導の対象者外（非肥満）： 受診勧奨実施率			100%	95%以上	100%		
		特定保健指導の対象者外（非肥満）： 受診勧奨実施者が医療受診した割合			23.40%	25%以上	75.00%		
		毎年			【糖尿病性腎症医療受診勧奨】 ・糖尿病等の医療受診の必要があると推測されるリスク保有者に、医療機関への受診勧奨を訪問、電話等で実施	受診勧奨実施率	-	95%以上	100%
					受診勧奨実施者が医療受診した割合	-	25%以上	58.33%	
	毎年	「高血圧」及び「脂質異常症」リスク保有者への情報提供		・血圧及び脂質の医療受診の必要があると推測されるリスク保有者への情報提供	文書での情報提供実施率	-	100%	100%	
					特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率	25.60%	30%以上	25.9% (R3法定報告値)	

1. 第2期データヘルス計画（2018～2023）の現状について

各事業の評価について

【基本方針2】安心できる医療サービスの提供

【事業目的D】医療費等の負担が少ない受診方法等の啓発

	事業名	実施年度	事業目的	実施内容	評価指標	計画策定時実績 2016年度 (H28)	目標値 2023年度 (R5)	達成状況 2022年度(R4)	
基本方針2 安心できる医療サービスの提供	ジェネリック医薬品等の啓発	毎年	D 医療費等の負担が少ない受診方法等の啓発	(ジェネリック医薬品の啓発) ・差額通知の送付及び「ジェネリック医薬品希望」印字保険証ケース等の啓発用品を配布	ジェネリック医薬品差額通知の送付頻度	年4回	年4回	年4回	
				ジェネリック医薬品の数量ベース利用率	73% (注) 2017.4	80%以上	78.2%		
	毎年	(重複投薬者への通知) ・生活習慣病の薬等が重複している者に通知を送付		重複投薬者の抽出頻度	毎月	毎月	毎月		
				-	-	-			
	各種啓発事業 (啓発チラシ、啓発用品の配布)	毎年			・広報折込チラシや市ホームページへの記事掲載 ・窓口やイベントでの啓発用品の配布	PRチラシ掲載内容	5テーマ	5テーマ以上	5テーマ
							-	-	-
医療費通知	毎年		・世帯主に医療費の額等を記載した通知を送付	発送回数	年6回(1年間分)	年6回(1年間分)	年6回		
					-	-	-		

【資料】第2期安城市国民健康保険データヘルス計画実績

1. 特定健康診査の受診率推移

特定健康診査受診率 目標：%以上 (実績：%)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	47% (46.9%)	50% (47.3%)	52% (44.3%)	55% (45.5%)	57%	60%

2. ヤング健診の受診率推移

ヤング健診 受診率 目標：%以上 (実績：%)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	9% (8.4%)	9.4% (6.8%)	9.8% (6.2%)	10.2% (6.3%)	10.6% (8.4%)	11.0%

3. ジェネリック医薬品の利用促進

数量ベース利用率 目標：%以上 (実績：%)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	75.5% (74.7%)	77% (76.2%)	78.5% (76.3%)	80% (76.0%)	80% (78.2%)	80%

1. 第2期データヘルス計画（2018～2023）の現状について

第2期計画全体の評価について

基本方針	1. 健康を保つための疾病予防 2. 安心できる医療サービスの提供
------	--------------------------------------

評価指標	計画策定 基準値 2016年度 (H28)	実績		最終年度 目標値	評価・考察 (成功・未達要因)
		中間評価時点 2020年度 (R2)	現状値 2022年度 (R4)		
生活習慣の改善に 取り組んでいる人の割合	20.40%	20.43%	18.80%	22%以上	健康意識向上のための効果的な周知が不足している。
年齢構成が国と同じ割合 の1人当たり医療費	0.843	0.838	—	0.82以下	<ul style="list-style-type: none"> ジェネリック医薬品の差額通知を年4回送付し、利用促進の啓発に努めている。 重症化予防事業に注力し、勧奨だけでなくその後の受診状況に応じて再勧奨等を行っている。

第3期安城市国民健康保険 データヘルス計画 の概要について

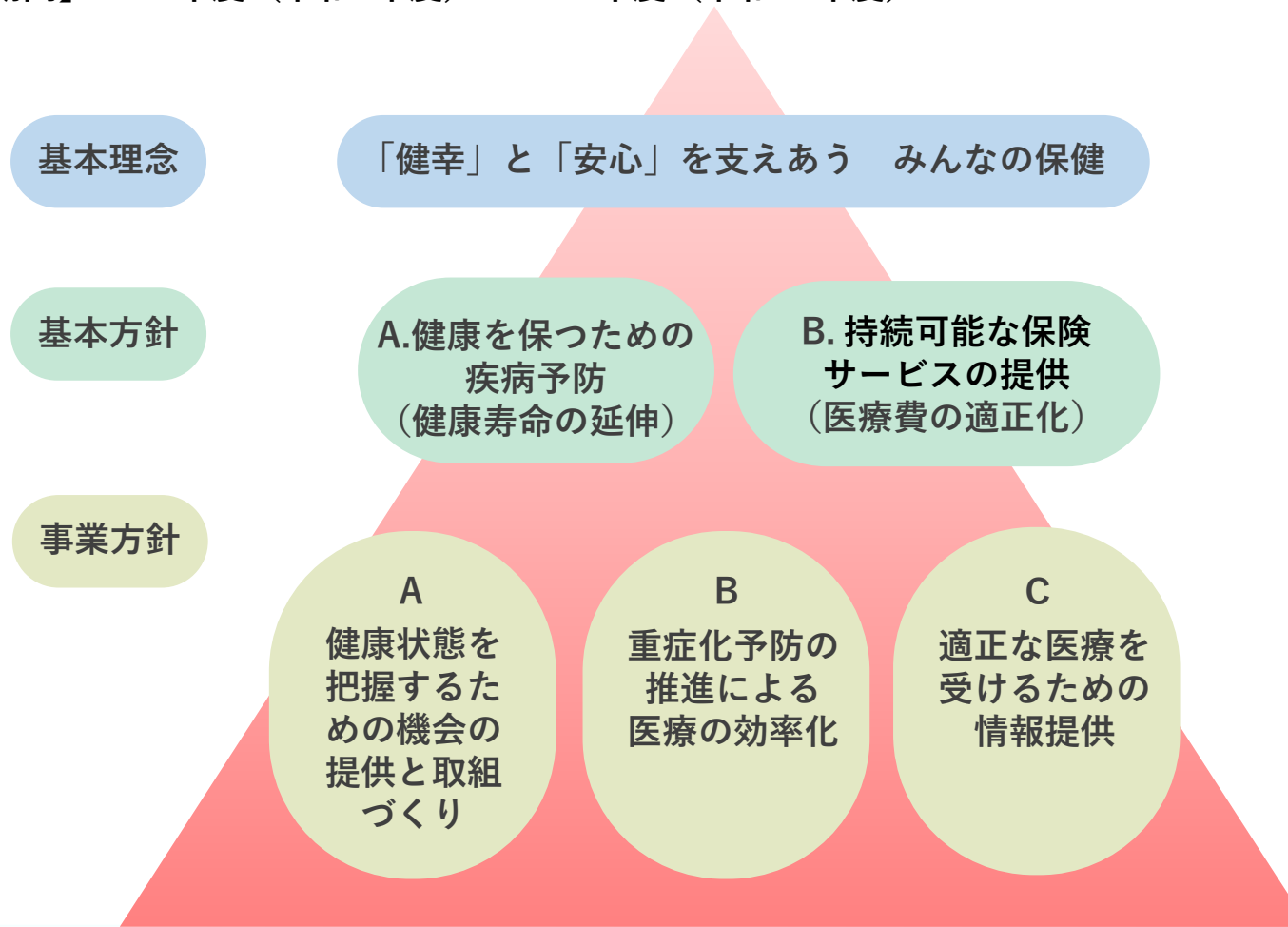
令和5年8月10日(木) 安城市国民健康保険運営協議会

10

2. 第3期データヘルス計画の策定について

(1) 第3期計画の基本理念、基本方針、事業方針(案)

【計画期間】2024年度(令和6年度)~2029年度(令和11年度)



2. 第3期データヘルス計画の策定について

(2) 計画策定に向けての医療費分析の状況

- 入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプトを分析。
- 対象診療年月は令和4年4月～令和5年1月診療分(10カ月分)

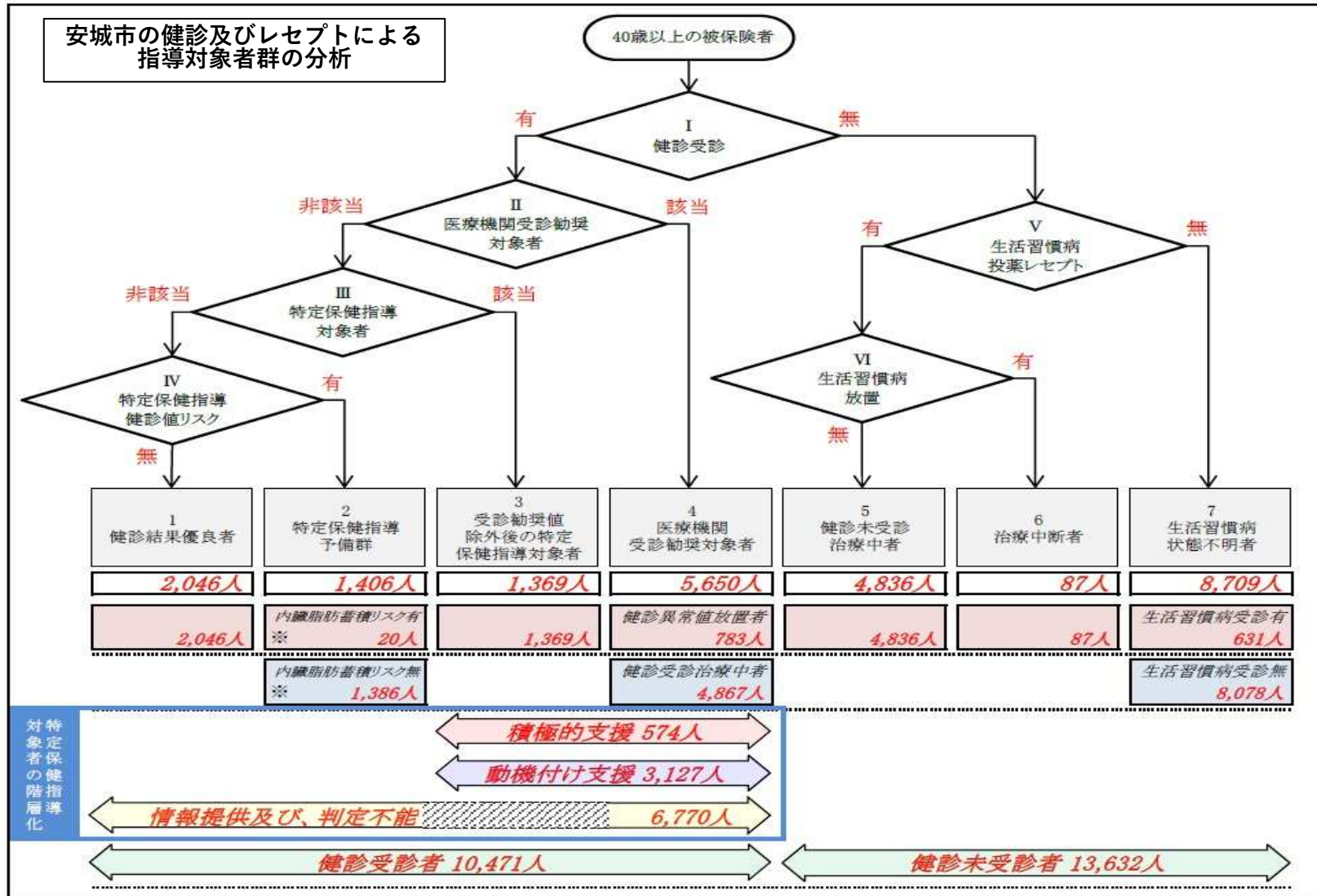
		10カ月平均	10カ月合計	
A	被保険者数(人)	31,878		
B	レセプト件数(件)	入院外	23,600	236,000
		入院	411	4,105
		調剤	12,880	128,800
		合計	36,891	368,905
C	医療費(円) ※	776,123,304	7,761,233,040	
D	患者数(人) ※	16,535	165,349	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	24,347		
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	21,039		
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	46,938		
D/A	有病率(%)	51.9%		
三要素	受診率(件/人・月) ※			
	一件当たりの日数(日) ※			
	一日当たりの医療費(円) ※			

2. 第3期データヘルス計画の策定について

(3) 生活習慣病疾病別の医療費統計

疾病分類(中分類)	医療費(円)	構成比(%)	順位	患者数(人)	有病率(%) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
0402 糖尿病	438,993,575	28.2%	1	7,862	21.7%	3	55,837	5
0403 脂質異常症	242,651,063	15.6%	4	8,958	24.7%	2	27,088	8
0901 高血圧性疾患	296,176,827	19.1%	2	9,878	27.2%	1	29,983	7
0902 虚血性心疾患	117,782,782	7.6%	5	2,746	7.6%	4	42,892	6
0904 くも膜下出血	28,549,442	1.8%	8	74	0.2%	10	385,803	1
0905 脳内出血	48,933,051	3.1%	7	286	0.8%	9	171,095	3
0906 脳梗塞	85,535,641	5.5%	6	1,331	3.7%	6	64,264	4
0907 脳動脈硬化(症)	1,703,799	0.1%	10	353	1.0%	8	4,827	10
0909 動脈硬化(症)	15,362,057	1.0%	9	856	2.4%	7	17,946	9
1402 腎不全	278,960,920	17.9%	3	1,424	3.9%	5	195,900	2
合計	1,554,649,157			15,160	41.8%		102,549	

2. 第3期データヘルス計画の策定について



2. 第3期データヘルス計画の策定について

(4) 課題に対する保健事業

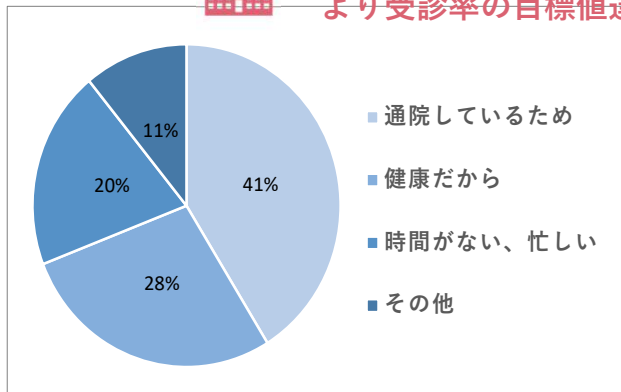
① 特定健康診査未受診者勧奨業務

安城市の
現状

- ・ 特定健診受診率は県の平均より高い水準で推移しているが、目標値の60%には未達。
- ・ 健診及びレセプトによる指導対象者群分析より健診未受診者の中で、「生活習慣病での医療機関受診中」の対象者が 4,836人（健診未受診者の約35%）存在する。
- ・ 生活習慣病状態不明者 8,709人へのアプローチは必須。

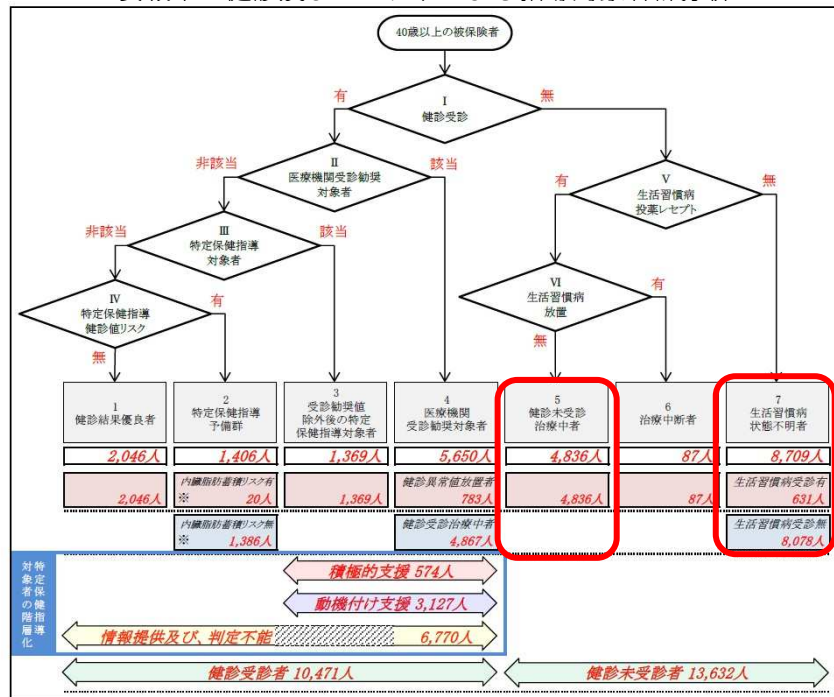
- ✓ 健診対象者の効果的なセグメント分け
- ✓ 対象者の特性に応じた通知

・ 各対象者の特性に応じたアプローチにより受診率の目標値達成を目指す。



※厚生労働省の調査結果で、未受診の最大の理由は「医療機関受診中」であるためとの結果がでており、生活習慣病患者への効果的な受診勧奨を行うことにより、受診率向上に寄与することができる。

安城市の健診及びレセプトによる指導対象者群分析



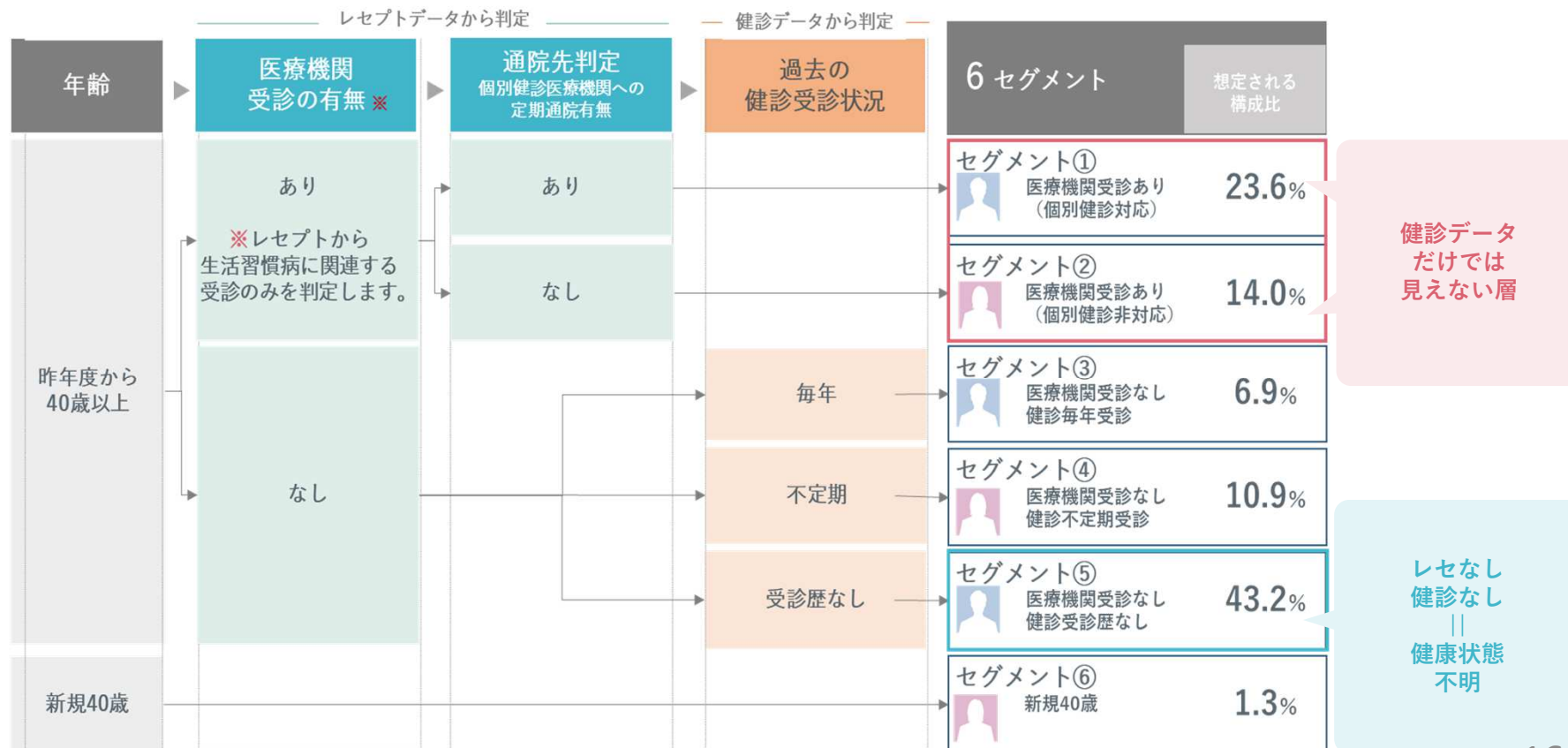
つながる。かなえる。健幸のまち、安城

2. 第3期データヘルス計画の策定について (4) 課題に対する保健事業

① 特定健康診査未受診者勧奨業務

✓ 健診対象者の効果的なセグメント分け (例)

(例) レセプトを活用したセグメント分け



2. 第3期データヘルス計画の策定について

(4) 課題に対する保健事業

① 特定健康診査未受診者勧奨業務

✓ 対象者の特性に応じた通知 (例)

■ セグメント① 個別健診対応の医療機関受診あり



通院先を表示することで
迷わせない。

あなたの
通院先でも
健診を受けることができます。

■ セグメント② 個別健診非対応の医療機関受診あり



■ セグメント⑤ 健診未受診者



インパクトのあるデザイン。

17

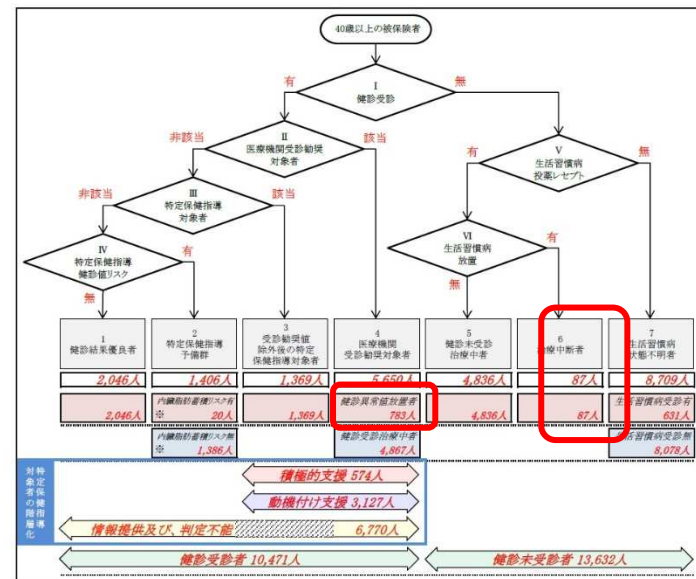
2. 第3期データヘルス計画の策定について (4) 課題に対する保健事業

② 健診異常値放置者・治療中断者医療機関受診勧奨

安城市の現状

- ・ 健診異常値放置者783人、生活習慣病治療中断者が87人存在している。
- ・ 未治療、未受診による基礎疾患の重症化の可能性が危惧される。

健診異常値放置者・生活習慣病治療中断者へ効果的に行動変容を促す通知を送付し、医療機関の受診を促すことで生活習慣病の重症化予防を目指す。



健診異常値放置者受診勧奨通知 (例)

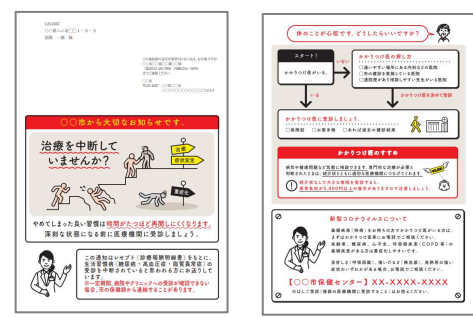
生活習慣病に関連した検査値に異常値があり、医療機関を受診していない人に、検査値を示した通知書で効果的に医療機関受診を促す。



健診異常値放置者向け通知

生活習慣病治療中断者受診勧奨通知 (例)

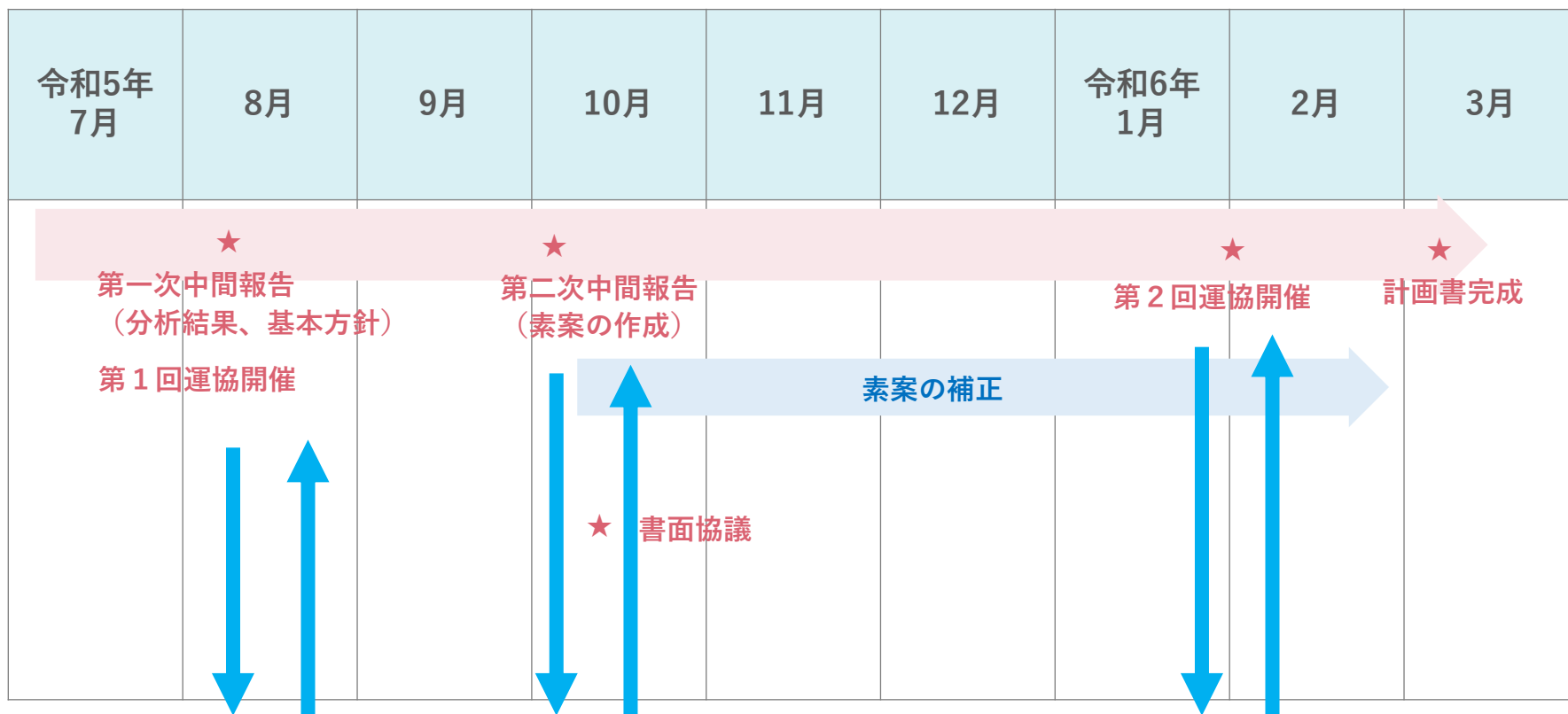
生活習慣病の治療をしていて、継続的に病院へ通う必要があるにもかかわらず、治療途中で中断している人



生活習慣病治療中断者向け通知

2. 第3期データヘルス計画の策定について

計画策定スケジュール



安城市国民健康保険運営協議会